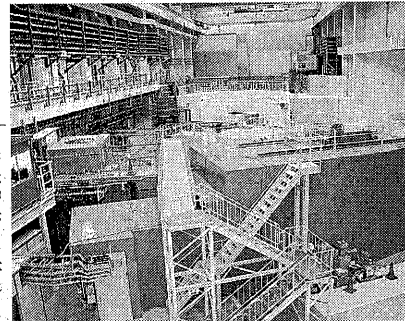


実験装置 中小連合で受注

技術集め地域産業活性化

J-PARC関連 事業機会に

昨年十二月に本格稼働した世界最先端の研究施設、大強度陽子加速器施設(J-PARC、茨城県東海村)をビジネスチャンスに生かそうと、地元中小企業の間で研究装置の開発を目指す動きが広がってきた。J-PARC支援研究会(JSS)に参加する中小企業連合は中性子ビームを使った実験装置の開発・製作をこのほど受注した。JSSはこれをアコに、各企業の専門技術を持ち寄ることでJ-PARC関連の事業拡大を狙う。



世界最先端の研究施設として昨年12月に稼働したJ-PARC

状態の容器と中性子の検出器から成る。素材はステンレス、アルミ、カドミウムなど。全長七メートル、高さ三メートル、多くの実験装置が並ぶJ-PARCの中でも遜色(そんじょく)ない大きさだ。

J-PARC向けの実験装置を開発・製作するには高い技術力が求められる。大半の設備を大手の電機や重電メーカーなどが受注しており、中小企業が受注するのは「極めてまれなケース」(J-PARC関係者)という。

「単独での受注は難しいが、複数の中小企業が協力し合うことで大手に負けない技術力を発揮できる」。JSSに参加するビームトロン(茨城県城里町)の佐藤達志社長はこう強調する。

受注額は一億円。今年八月の完成予定だ。JSSは再生手続中の県内二位のバス会社、茨城交通(水戸市、竹内順一社長)に対して、経営コ

Sは今後、J-PARC内に茨城県が保有する中性子実験装置のサポート企業として、関連事業の受注を目指す。

J-PARCは日本原子力研究開発機構と高エネルギー加速器研究機構が共同で建設した。光速近くまで加速した陽子を金属にぶつけ、その時に生じる中性子をさまざまに実験や研究に利用していく。

増高 昨預 した 代 日

JSSに参加する 主な中小企業

インフォグラフィックジャパン(ひたちなか市)	システム設計
大和電機製作所(日立市)	モーター発電機製造
高千穂精機筑波営業所(つくば市)	計測機器販売
巧企画(ひたちなか市)	運送機器設計
日本アクシス(ひたちなか市)	研究施設メンテナンス
ビームトロン(城里町)	理化学機器製造
ユミノ金属工業(ひたちなか市)	板金加工

JSSはJ-PARCを地域産業の活性化に役立てようと、県内に事業所のある中小企業十六社が集まり、〇四年に設立された。これまでひたちなかテクノセンター(茨城県ひたちなか市)、日立地区産業支援センター

茨城交通再建スポンサー

経営共創基盤に決定へ

事業再生実績など評価

民生再生手続中の県内二位のバス会社、茨城交通(水戸市、竹内順一社長)に対して、経営コ

とした現在の茨城交通の事業や従業員を、分社化する新会社に移管する。新会社は経営共創基盤か

生法を申請していた。

経営共創基盤は元産業再生機構専務の富山和彦氏が代表を務める。地方のバス会社の再生を手掛

日野自誘致、足かけ4年

橋本知事

「私は足かけ4活動をやってきた。県の橋本昌知事はの会見で、日野自河市進出について、日野自が実ったことを強調した。二九月に初めて同社から十回近く社長ことなどを披露。利さや土地の価格どの「勝因」も分析した。

県と日野自動車の約六十四社の工

イオン、笠間出店断念

テナントが集まらず

めもえナ